

令和3年度事業計画書（案）
（令和3年4月1日～令和年3月31日）

特定非営利活動法人はばたき

1 事業の方針

令和3年度は、昨年に策定した「中長期計画」の第2期にあたりその実践を進めていくが、特に「利用者工賃の向上」と「職員の働く環境の整備と資質向上」に力を入れていく。それにあたっては令和2年から収束していない新型コロナウイルス対策も並行して行わなければならない。マスクの着用・検温・消毒・換気・蜜を避ける等の対策を十分とり、継続して支援が提供できるようにしていく。

今年度改訂された就労継続支援B型事業所の報酬改定では、継続して利用者の工賃実績が評価されるため、今年度の利用者の平均工賃2万円を目標に生産活動に取り組んで行く。

●就労に向けた作業訓練

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立っておらず、その影響から作業の受注量や飲食サービスについて不安定な状況が続いている。安定した作業提供が行えるよう、企業の発注担当者と情報交換を密におこない、作業の確保に努めていく。昨年度、受注増となった清掃業務や除草作業に注力するとともに、自主事業の開拓も継続して行い工賃向上を目指していく。

●就労に関する相談事業

利用者に対する相談支援においては、サービス管理責任者が利用者と設定している個別支援計画について、今年度は工賃向上に重点を置いて作成し、個別支援目標達成に向けてサービス管理責任者・職員が一体となって支援を行っていく。当事業所に寄せられる相談も多様化してきており、ニーズの解消・改善に向けて相談支援専門員や関係機関と連携を密に行い社会課題解決に向け取り組んで行く。

●福祉施設への作業受注に関する協力事業

共同受注システムは発足以来10年を経過し、各福祉事業所には趣旨や運営は理解され定着してきている。今後の課題の一つとして、施設外での作業については、職員の配置等に検討の余地があり、施設内で行える作業の希望が多くなってきている。施設外作業の受注については、現状を維持しつつ施設内で行える作業が受注できるよう営業を行っていく。会社の規模に関わらず、過去に営業を行った際、感触の良かった所に再度連絡を取り、作業受注に結び付けら

れるよう取り組み、各事業所と連携して情報交換を行いながら各事業所利用者の工賃向上につとめていく。

- 福祉関係の知識の普及事業

昨年度コロナ禍の影響で、地域との交流の機会が減少したが、今年度はさまざまな状況を把握・確認しながら可能な限り交流会等を実施して、地域と繋がっていく。

- 他団体との交流事業

自治体等が主催するイベント等も徐々に再開されてきている。新型コロナウイルス感染症の状況や社会情勢等を勘案しながら、イベントに参加し他団体との交流を図っていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者	受益対象の人数	支出額(千)
就労に向けた作業訓練	ドアノブ部品の組付け・ダンボール材の補修・線香の箱詰め・カフェの運営・共同受注での委託作業を行う	月～土 9:00～ 16:00	はばたき まつぼっくり、日光市内のミニパーク他	職員 10名、家族、ボランティア	県内在住の障がい者 30名	49,000
就労に関する相談事業	障がいのある方に対し、面接・電話等で就労に関する相談事業を行う。	随時	はばたき まつぼっくり	職員 10名	県内の障がい者	0
福祉施設への作業受注に関する協力	共同受注活動の充実、近隣の福祉施設への作業受注協力や公的機関、企業との連絡調整を行う。	随時	はばたき まつぼっくり、福祉施設、公的機関、企業等	職員 7名	県内在住の障がい者、福祉施設、企業	6,588
福祉関係の知識の普及	地域交流会として講習会、研修会、レクリエーション等の企画・運営を行う。	年 12 回	はばたき まつぼっくり、日光市農村環境改善センター他	職員 10名、家族、ボランティア	県内在住の障がい者及び地域住民	0
他団体との交流事業	福祉施設や自治体が開催するイベントやボランティアフェスタへ参加する。	年 3 回	日光市中央公民館他	職員 10名、家族、ボランティア	県内在住の障がい者及び地域住民	0

(2) その他の事業

実施の予定なし。